



== 理念 ==

人とのつながりを大切にされた福祉活動で、だれもが笑顔で心豊かに生活できる地域社会を目指す法人です。

== 指針 ==

- ① 地域の人から頼られる介護福祉サービスを提供するために成長する。
- ② 地域の人との交流を深め、当法人の専門性や資源を地域に提供する。
- ③ 地域の課題やニーズを発見し、地域住民・関係者と連携しながら不足する福祉活動を展開する。



働きやすい  
職場づくりに  
取り組む  
事業所認定

ぐんま介護人材育成宣言

~~~~ 令和3年度取り組みの重点 ~~~~

- ① 法人の安定経営を前進
- ② 働きやすい職場の構築 チェック&ドゥ25の実施・改善項目を確定  
・改善計画の策定・改善の実施
- ③ 虐待に対する一時避難所の設置を進める。

第22回 定時社員総会報告 令和3年5月7日

令和2年度の活動概要 と 令和3年度の事業

令和2年度は、平成12年9月1日のグループホーム喜楽運営開始以来20年の節目となり、これを記念するイベントを開催しました。コロナ禍で実施も危ぶまれましたが、参加人数をしばり「20年の歩みとこれから」のスライド発表と記念講演を開催することが出来ましたことは喜びとするところです。

令和2年度は長期目標から策定したビジョンの5年目に当り、新しい事業の開始が策定されていましたが、令和3年3月から「地域密着デイの喜楽」の運営を開始できました。新事業を軌道に乗せるには、まだまだ試練は続きますが、ひとまず一歩前進しました。

新型コロナウイルス感染拡大により、さまざまな制約がなされる中、「カフェだんだん」は無期限の活動休止です。「よってこ松沼」もスタッフ・利用者の安全を考慮し活動出来ていません。「新しい日常」の中での、人とのつながりのあり方を再構築していきます。

令和3年度の事業計画については、下記の内容が承認されました。

- ①法人の安定経営を前進
- ②働きやすい職場の構築 チェック&ドゥ25の実施・改善項目を確定・改善計画の策定と実施
- ③虐待に対する一時避難所の設置を進める。

この総会の承認に基づいて、令和3年度の新たな活動を展開します。また、令和3年度はこれまでの「法人戦略5年後ビジョン」の達成度評価を行い、いよいよ次のステップ!!新たな「5年後ビジョン」を作成することになります。

令和2年度収支決算 (単位:千円)

| 収入実績    | 費用実績    | 差額     |
|---------|---------|--------|
| 233,413 | 240,232 | -6,819 |

令和3年度収支予算 (単位:千円)

| 収入予算    | 費用予算    | 差額    |
|---------|---------|-------|
| 264,890 | 261,750 | 3,140 |

連携を密に!  
ケアプラン介護相談・訪問介護・支え合い活動



気軽にお立ち寄り下さい!

要介護認定の判断に至る前に受ける事の出来る支援について、支え合い活動やいろいろな方面から手立てを探しましょう。

認知症を理解しましょう

ケアマネージャー 陶山典子

今回から認知症について知っておいた方がいい話を3回に分けて話そうと思います。お互いさまネットワークはグループホームを立ち上げてから昨年20周年を迎えました。

グループホームとは認知症の方々が介護者の手を借りて一緒に生活する場所です。高齢化が進み65歳以上の割合が30%にせまる状態である昨今、認知症の割合も増加傾向になってきています。

65歳以上の高齢者のうち認知症を発症している人は推計15%、2012年時点で約462万人以上です。2025年には730万人へ増加し、65歳以上の5人に一人が認知症を発症するといわれています。また、高齢になるにつれ、認知症の割合は増加すると予想され、85歳以上では55%以上の方が認知症になるとも言われています。

認知症とはどんなものなのでしょうか。様々な原因で脳の細胞が死んでしまったり働きが悪くなったりしたためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態のことを指します。

認知症を発症すると、目にしたのや聞いたことを思い出せなくなるだけでなく、日付や季節、自分のいる場所などが把握できなくなり、また、物事を考えたり、判断したりすることも困難になり、その結果、自ら計画を立てて、段取り良く物事を進めることが出来なくなってしまうといわれています。

自分たちの親、周りの知人、もしくは自分が認知症になってしまったら、少しでも知識があれば、あわてず、騒がず、ゆったりと介護や生活ができるかもしれません。

訪問介護の喜楽



今年の4月から、訪問介護の喜楽に入職しました、割田智絵です。よろしくお願ひします。以前はデイサービスで働いており、訪問介護は右も左も分からず初めてのことばかりでした。先輩方やご利用者様に色々な事を教わりながら、学ばせて頂いております。

1対1での支援なので、初めは時間に追われバタバタしていましたが、少しずつご利用者様とお話する余裕が出来ました。まだまだ覚える事はありますが頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。

支え合い活動

支え合いコーディネーター 坂田寿子

6月16日(水)、よってこ松沼にて、協力会員の皆さんに総会報告を行いました。昨年は時節柄、あらゆる会合を見合わせておりましたが、今回は7名の参加者と共に会員同士の情報交換が出来たことを喜ばしく思います。

コロナ禍においても、最善の感染防止対策を講じ、利用者さんの支援にご協力くださったことを恩田理事長から感謝の気持ちを直接お伝えできました。

この活動も様々な課題は山積していますが、「お互いさまがあって、助かったよ!」と言って下さる方のために、出来る事を出来る範囲で支え合っていければと改めて感じています。協力会員の仲間を絶賛募集中です。